

みずほCustomer Desk Report 2025/03/11 号(As of 2025/03/10)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.34
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	147.57	1.0861	160.15	1.2931	0.6303
SYD-NY High	147.87	1.0874	160.35	1.2946	0.6330
SYD-NY Low	146.63	1.0806	158.94	1.2862	0.6265
NY 5:00 PM	147.29	1.0837	159.52	1.2879	0.6278
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,911.71	▲ 890.01	日本2年債	0.8700%	0.0200%
NASDAQ	17,468.32	▲ 727.90	日本10年債	1.5700%	0.0500%
S&P	5,614.56	▲ 155.64	米国2年債	3.8885%	▲0.1102%
日経平均	37,028.27	141.10	米国5年債	3.9736%	▲0.1095%
TOPIX	2,700.76	▲ 7.83	米国10年債	4.2179%	▲0.0862%
シカゴ日経先物	36,475.00	▲ 805.00	独10年債	2.8250%	▲0.0100%
ロンドンFT	8,600.22	▲ 79.66	英10年債	4.6450%	▲0.0025%
DAX	22,620.95	▲ 387.99	豪10年債	4.4200%	0.0090%
ハンセン指数	23,783.49	▲ 447.81	USDJPY 1M Vol	12.27%	0.57%
上海総合	3,366.16	▲ 6.38	USDJPY 3M Vol	11.23%	0.28%
NY金	2,899.40	▲ 14.70	USDJPY 6M Vol	10.80%	0.14%
WTI	66.03	▲ 1.01	USDJPY 1M 25RR	▲1.77%	Yen Call Over
CRB指数	302.32	▲ 0.72	EURJPY 3M Vol	11.32%	0.15%
ドルインデックス	103.84	0.00	EURJPY 6M Vol	10.99%	0.12%

東京	東京時間のドル円は147.57レベルでオープン。米2月雇用統計が弱めの結果となった事による米景気後退懸念から、ドル売りが優勢となり一時147.10まで下落した。その後は米金利上昇を受けてじり高で推移し147.78まで上昇したが、結局147.59レベルで海外時時間へと渡った。
ロンドン	週末のトランプ大統領の発言は、米国経済の不確実性を浮き彫りにした。これは株式市場に悪影響を及ぼし、市場は安全資産として円を 선호するようになったことでドル円は2025年の安値を付けた。ドル円は147.59レベルで始まり、146.73から147.78の間で取引され、147.14レベルでNYに渡った。ドイツの緑の党が債務改革を支持しない可能性があるため、11:00 GMT頃、ユーロドルは急落した。独DAX指数、EURO STOXX 50指数はともに1%超下落。ユーロドルは1.0843レベルで始まり、株式市場が開くと1.0806まで下落し、その後1.0850レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。米政権による関税案の発動を背景に景気減速懸念が強まり、米債買いの流れを受けた米金利の低下が重しとなり、じり安で推移し、147.14レベルでNYオープン。午前中は米株安や、米金利が下げ幅を拡大する動きを受け、146.63まで一段安。しかし、続いて発表された米2月NY連銀1年先のインフレ期待が予想を上回ると、買い戻しが優勢となり、147.30付近まで反発。午後は軟調な展開を見せていた米株が下げ幅を縮小する動きに伴い、147.46まで戻す。その後は小幅反落し、147.29レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。欧州株安の展開を受け、1.0806まで下落する場面もあったが、その後に発表されたユーロ圏3月センチックス投資家信頼感指数が予想程悪化しなかった事を受け反発し、1.0850レベルでNYオープン。午前中は先述の米経済指標が予想を上回った他、トランプ米大統領が米経済は過渡期にあるとの発言が材料視され、リスクオフのドル買いが優勢となり、1.0818までじり安で推移。午後は新規材料乏しい中、1.0830付近を中心とした狭い値動きが続き、1.0837レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 部坂・山田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月10日	14:00	日 景気一致指数・速報	1月	116.2
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	1月	2.0%

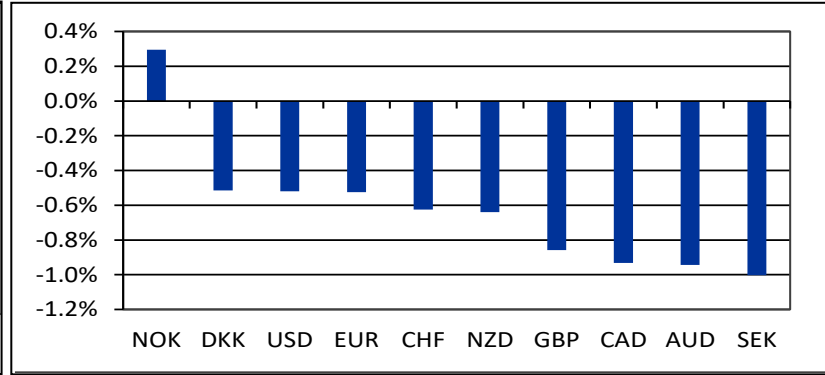
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月11日	08:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	3月	-
	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	4Q	0.7%
	08:50	日 GDP(年率/季調済/前期比)・確報	4Q F	2.8%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	4Q F	2.8%
	09:30	豪 NAB企業信頼感	2月	-
	09:30	豪 NAB企業景況感	2月	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	145.50-147.50	1.0750-1.0950	158.00-160.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は米株を中心にリスク資産が大幅下落となり、リスクオフの流れから米債が買われる流れとなり米金利低下のなかドル円は一時146.63まで下落となった。その後は米2月NY連銀の1年インフレ期待指数が予想を上回ったことで買い戻されて引けとなった。

本日は特段目立った経済指標の発表がないなか、昨日のトランプ大統領の「米経済は過渡期である」との短期的なリセッションを容認するとも捉えられる発言を受けたリスクオフの流れが継続すると予想する。明日発表されるCPIを前に、米経済の減速懸念を背景に短期的には下値を試す展開となるのではないかと。

担当: 部坂・山田